

やさしく・かしこく・元気よく～認め合い



桃小だより

令和8年9月1日 第5号

大分市立桃園小学校

文責：校長 平山達也

2 学期スタートにあたって ～学校・家庭・地域で育む「認め合い」と「人間関係力」～

長く楽しかった夏休みが明け、校舎に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってまいりました。

保護者のみなさま、そして地域のみなさまにおかれましては、夏季休業中も子どもたちの安全で健康な生活を温かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。

さて、2 学期は運動会や地域と連携した行事など、仲間と協力して取り組む大きな活動が目白押しの季節です。

本校ではこの 2 学期、子どもたちが社会の中で豊かに生きていくための基礎となる「認め合い」と「人間関係力」の育成に、重点的に取り組んでまいります。

■ 「違い」を尊重し、認め合う心

世の中には多様な人がいます。得意なことや考え方、育つ環境は一人ひとり異なります。学校生活の中で大切なのは、「自分と他者の『違い』を面白がり、お互いの良さとして認め合うこと」です。

自分と異なる考えに出会った際、遠ざけるのではなく「そういう考え方もあるんだね」「それがあなたの良いところだね」と尊重できる温かい集団を目指します。

友達や周りの人の頑張りをを見つけ、「いいね!」「ありがとう!」と認め合える経験を重ねてまいります。

■ 未来を生き抜く「人間関係力」とは

集団生活や行事の過程では、思い通りにいかないことや、友達との意見の衝突（摩擦）が生じます。本校ではこれを不適切なものと捉えるのではなく、成長のための大切な機会と考えます。

本校が目指す「人間関係力」とは、単に波風を立てない社交性ではなく、「互いの違いを認めつつ、自分の気持ちを適切に伝え、対話によって折り合いをつけていく力」です。

1. **あいさつと感謝**：「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に伝える。
2. **自己表現**：「私はこう思うよ」と相手を傷つけずに伝える。
3. **傾聴と理解**：相手の考えや感情に最後まで心を寄せて聴く。

これらを日常の中で意識させ、失敗を繰り返しながらも「人と上手に関わる力」を育てていきます。

■ 保護者・地域みなさまへのお願い

子どもたちが「自分も他者も大切にする力」を身につけるためには、学校・ご家庭・地域の三者が同じ思いで寄り添っていくことが欠かせません。

- **ご家庭で（保護者のみなさまとともに）**

お子様が学校での悩みや出来事を話した際は、まず「そう思ったんだね」と気持ちを受け止めてあげてください。

トラブルの際も「どう伝えればよかったかな？」「相手はどう思っていたかな？」と一緒に考える機会にすると、子どもたちの成長につながります。

- **地域の中で（地域みなさまとともに）**

登下校時や地域で見かけた際には、ぜひ「おはよう」「こんにちは」と気軽にお声がけください。

挨拶や良い行いへの「いいね！」「ありがとう」という地域からの承認が、子どもたちの自己肯定感と社会性を大きく育みます。

教職員一同、子どもたち一人ひとりの成長を温かく見守ってまいります。

今学期も本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

